

番号	63	学校名	飯田高等学校
----	----	-----	--------

## 学校評価 成果と課題まとめ

### 1 学校教育目標・今年度重点目標全般について

本校では目標設定に際して、生徒の状況や中間評価を考慮して部署ごとに内容面の調整を行ってきました。探究的な学びを推進するために、アクティブラーニングやICTを利用して「主体的で深い学び」を実践し、その達成度を評価するための項目も加えてきました。

(1) 学校教育目標、今年度重点目標については、関係者・内部とも数値評価の結果より、ほぼ目標が達成されていると評価できる。しかし、コロナ禍による活動制限のため、「わからない」という回答が多く見られた。情報発信の方法、評価項目等において今後の課題と考えられる。

### 2 安心で、安全な環境づくり

(1) 概ね高い評価を得ているが、新型コロナウイルスの影響で不登校や長期欠席をする生徒が昨年に引き続いて多かった。教育相談やSC、SSWとも連携しながら生徒や保護者と丁寧に関わっていききたい。

(2) 今年度からタブレットが導入され、情報発信やアンケート回答の場面で有効に利用することができた。一方で SNS などによるトラブルも見られたので、これまで以上に機器の使い方、情報モラルの教育などを充実させていきたい。

### 3 キャリア意識の醸成

(1) 長年の取り組みの積み重ねの成果を大切にしながら、電子黒板やプロジェクターなどのICTを用いて授業を行うなど、本校の3つの方針やグランドデザインに沿った教育活動ができた。

(2) 昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で大学見学等が中止となったが、オンラインでの進路講話や大学模擬講義等を円滑に行うことができた。

### 4 生徒の自主・自立支援

(1) 生徒会活動では、新型コロナウイルスにより昨年度実施できなかった文化祭を実施することができた。外部のコロナ禍におけるイベントの運営方法を参考にしながら、生徒主体で文化祭を実施することができた。

(2) 新型コロナウイルスの影響で活動中止や対外試合の禁止など様々な制限があったが、どのクラブも工夫して活動を行うことができた。

### 5 開かれた学校づくり

(1) 概ね良好な評価をいただいている。情報発信については文書やホームページ、メール等を利用し適切に行うことができた。授業公開では参加範囲を制限したものの、複数回実施することができた。コロナ禍の状況で工夫して行えたことは評価をいただいている。

(2) 匿名性アンケートを通して生徒や保護者の意見を把握し、校内での共有を図り、必要な対応をしてきている。

番号	63	学校名	飯田高等学校
----	----	-----	--------

## 令和3年度 長野県飯田高等学校 内部評価 (対象:教職員)

評価の欄に1～5の数字をご記入ください。

- 1 そう思う    2 どちらかと言えばそう思う    3 どちらかといえばそう思わない  
4 そう思わない    5 わからない

学校教育目標	1 いのちと人権を尊重して、いじめや暴力を許さない人間を育てる 2 幅広い活動を通じ、自主的、自立的、自律的な行動ができる心身ともに健全でたくましい人間を育む 3 個々に適した進路指導を行い自己理解を深めるとともに、自発的に学習する態度を育て、社会的視野を広げることを支援する 4 保護者や地域と連携し、安全・安心で信頼される、開かれた学校づくりを進める					
今年度重点目標	1 いじめや暴力を許さない安心で、安全な環境づくりに努める 2 生徒のキャリア意識を醸成し、進路実現にむけた意欲的な学習活動を支援する 3 生徒の自主活動を支援し、自主性・自立性・自律性をかん養する 4 開かれた学校づくりを進める					
評価項目	評価の観点	1	2	3	4	5
安心で、安全な環境づくり	1 教職員間で情報・指導の共有化ができたか	35.3%	64.7%			
	2 安全管理や危機管理意識を高める取り組みができたか	29.4%	64.7%	5.9%		
	3 授業や特別活動を通じて、人権意識を高める取り組みができたか	41.2%	58.8%			
	4 安全・快適な学校環境づくりに努力できたか	47.1%	52.9%			
キャリア意識の醸成	5 教職員間で情報・指導の共有化ができたか	35.3%	58.8%	5.9%		
	6 授業内容・方法を工夫し、生徒の学ぶ意欲を高める授業が実践できたか	35.3%	64.7%			
	7 基本的な生活習慣・自主的な学習習慣をつくるための指導ができたか	47.1%	52.9%			
	8 キャリア意識を醸成する実践が、授業や特別活動を通じてできたか	35.3%	58.8%	5.9%		
生徒の自主・自立支援	9 生徒会やHR活動、班活動等で、生徒の自主性・自立性・自律性を高める支援ができたか	41.2%	58.8%			
開かれた学校づくり	10 学校に関する各種情報が生徒や保護者、地域に適切に提供できたか	23.5%	70.6%	5.9%		
	11 生徒や保護者、地域の意見・要望を積極的に把握し、それに対して適切に対応できたか	35.3%	58.8%	5.9%		
目標設定	12 学校目標は適切だと思いますか	47.1%	52.9%			

令和3年度 学校評価表の目標達成のための重点事業（最終評価）

学校教育目標	1 いのちと人権を尊重して、いじめや暴力を許さない人間を育てる 2 幅広い活動を通じ、自主的、自立的、自律的な行動ができる心身ともに健全でたくましい人間を育む 3 個々に適した進路指導を行い自己理解を深めるとともに、自発的に学習する態度を育て、社会的視野を広げることを支援する 4 保護者や地域と連携し、安全・安心して信頼される、開かれた学校づくりを進める
今年度重点目標	1 いじめや暴力を許さない安心して、安全な環境づくりに努める 2 生徒のキャリア意識を醸成し、進路実現に向けた意欲的な学習活動を支援する 3 生徒の自主活動を支援し、自主性・自立性・自律性をかん養する 4 開かれた学校づくりを進める

【観点と評価】 1.良く取り組んでいた 2.取り組んでいた 3.あまり取り組めていない 4.取り組めていない 5.わからない

部署	令和2年度 目標達成のための重点事業	改善点・提言	成果と反省（来年度に向けて）	1	2	3	4	5
教務・庶務・防災	保護者・地域への的確な情報発信	・予定通りの高松だより発行、日々のHP更新、必要に応じたメール配信など、情報提供に心がけることができた。	・速やかなHPの更新およびその場に応じた適切なメール配信に心がけ、よりよい情報提供をした。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	組織として円滑な学校運営	・コロナ感染症対策やJR運休による臨時休業の対応に苦慮し、連絡の徹底、円滑な運営が思うようにすすめられなかった。	・コロナ対応や天災などによる緊急時の連絡が迅速に徹底できるようにしたい。 ・常に全職員が様々な場面において、情報共有できるようにしていきたい。	45.5%	45.5%	9.1%	0.0%	0.0%
	職員間での適切な情報の共有の推進	・コロナ対策に配慮しながら、防災訓練等は計画通り実施した。	・全職員生徒保護者の共通理解のもと、スムーズな校務運営を進め、過ごしやすい学校生活をおくれるようにしたい。	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	防災訓練の実施と工夫、防災教育の充実			45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%
情報ネットワーク	情報ネットワークの更新管理	・BYODが1、2年生でスタートするにあたり校内の指針を作成し、個人情報の取り扱いについて注意喚起を行い、適切なデータ管理をしてもらうように努める。	・1、2年生のBYOD環境が整い、来年度は全学年で実施予定である。今後は生徒に対してアカウント管理を中心とした個人情報の取り扱いについて注意喚起に努めたい。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	校内LAN・普通科PC教室についての環境整備	・校内の無線LAN・普通科PC教室の整備が完了しており、使用にあたっての情報の周知を図る必要がある。	・ネットワーク・ICT機器の更新がほぼ完了した。他部署との連携を行い機器を有効利用できる状況を整備する必要がある。	54.5%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%
	個人情報について、適切なデータ管理を徹底する(アクセス制限など)	・既存のICT機器の不具合が多くなっており、保守点検を行うなど故障の予防措置対策を講じる必要がある。	・個人情報管理については研修を行い情報セキュリティに対する意識付けができた。	27.3%	63.6%	0.0%	0.0%	9.1%
	職員間の情報共有に関して、イントラの充実をすすめる			27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%
授業計画	学習効果を高める時間割編成の研究	・特編授業、3年テスト返却もバランスを考えた計画できた。	・12月3年生、3月1・2年生の答案返却も予定通り実施できた。	27.3%	63.6%	0.0%	0.0%	9.1%
	考査・特編の計画・実施	・科目選択は早くから取り組んだが、クラス数が減少する中での開講科目決定には課題が残った。	・年間の授業では、新教育課程が始まるため大きな変更があった。バランスの良い配置を検討していきたい。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	科目選択及び講座編成の工夫			54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
進路指導	進路通信・学年進路通信の発行、模試結果の分析	・コロナ禍の中ではあるが、オンラインを活用しながら、各学年の進路行事・模試の運営や、信州大学説明会、大学模擬講義、医学部医学科合格に向けた講演会等の行事を、ほぼ計画通り進めることができています。	・進路室通信を発行し、生徒への情報提供や進路意識の向上を図った。できればもう少し回数を増やしていきたい。各学年では、模試・探究学習・学習・進路指導等多岐にわたる内容を進路通信で伝えることができた。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	進路情報の提供	・進路通信を時宜に応じて発行し、生徒への情報提供や進路意識の向上を図っている。各学年でも、模試・探究学習・学習指導等多岐にわたる内容を進路通信で伝えている。	・進路講話、大学模擬講義、信州大学説明会、難関大対策講座などはオンラインを利用して実施することができ、進路意識の醸成を図ることができた。社会人講話(1学年)、「総合研究大学院大学×飯田高校×飯田市"未知への挑戦"」(総研大大学院生による最先端研究に関する授業)、医学科受験対策講座等は対面で実施できた貴重な機会となった。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	進路検討会議の実施	・前年度の入試結果・最新の入試動向などをまとめた資料を、学校評議員会・同窓会・PTA等に提供した。	・前年度の入試結果・入試動向などをまとめた資料を、学校評議員会・同窓会・保護者等に提供した。また、第2回目の大学入学共通テストの結果を分析し、職員会等で報告し、職員間での情報共有に努めた。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	地区懇談会への資料提供	・第2回目となる「大学入学共通テスト」に向けて、適時情報を発信しながら出願・確認作業を進めている。	・医療職体験については、医療機関に協力いただきながら、可能な範囲での受け入れをしていただき、多くの生徒が参加することが出来た。	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%
	キャリア教育全般		・高大接続改革・大学入試改革の中で、推薦入試のあり方が大きく変わる中、本校進路指導における推薦入試の考え方を検討していく必要がある。	36.4%	45.5%	9.1%	0.0%	9.1%
					54.5%	45.5%	0.0%	0.0%
学習指導	学習計画の立案と実施 シラバスの作成	・小論文指導では、昨年度から予備校の講師に変更し、入試対策および指導法の講演会を実施した。73名の生徒が参加し質問等を行い、好評であった。	・小論文指導講演会では、予備校講師にお願いした。来年度も意見を聞きながら実施していきたい。小論文模試についても、業者選択等含め検討していきたい。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	小論文指導			41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	補習計画	・人権平和学習は、「みんな幸せになりにたい～あなたも私も～」をテーマに明星学園の宮下先生のZOOMによる講演会を行い、生徒はワークシートにまとめた。	・前期特編授業は、出席度大いに改善されたが、授業の見直し等を含めて、意義あるものになるように改善していく必要がある。	58.3%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%
	総合的な探究の時間	・「学習室便り」を発行した。学習室・自習室の利用を生徒に発信した。	・人権平和学習については、今年度は外部講師をお願いしたが、外部講師を呼ぶ場合には、早期に日時の調整等行う必要がある。	58.3%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%
	人権平和学習(10月)	・長期休業の補習は計画通り実施することができた。それ以外にも各学年による補習も積極的に行われた。	・ICTを活用した授業を推進している。機材管理の在り方、使い方や授業方法に関する職員への周知方法などが課題である。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	学習室・自習室の環境整備	・学習室を拡張し、生徒の利用時間、使用頻度が大きくなった。	・探究学習については、大学や地域(学輪IIDA、つなぐ事業、地元企業等)と連携を視野に、来年度の学年学習係と連携し、具体的に計画を立案し提案していく。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	生徒による授業評価の実施と分析	・匿名性を担保した授業評価、学びの指標等の調査では、紙やGoogle等を有効に使い行うことができた。	・秋の家庭学習重点週間については、形骸化しているのので、内容について検討する必要がある。	50.0%	33.3%	8.3%	0.0%	8.3%
	授業公開・研究授業などの立案・計画			41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%

番号 63 学校名 飯田高等学校

図書視聴覚	日常および学校行事での放送協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分団ごとに、着実に計画通り進んでいる。探究学習や進路に関する情報など、必要な時に適切な資料を提供できるよう心掛けている。</li> <li>図書資料のうち新書の需要が増加しているため、需要の高い分野について計画的に購入していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第66回高松祭でのステージリモートなど、新たな設備により放送委員と協力して放送の準備運営を行うことができた。</li> <li>図書委員会では活動内容を精査検討し、ブックカフェ・屋台など今までの企画に加えコロナ対応下の高松祭で図書企画を実施できた。</li> <li>図書館では例年通り、小論文・面接に必要な資料を随時更新、提供し、受験のニーズに対応できるよう努めている。</li> <li>今後は、探究学習でどのような図書館利用が可能か探究担当係や学年と連携を取り情報を提供していくことと、日ごろから授業で図書館を活用できるよう呼びかけをしていきたい。</li> </ul>	63.6%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%
	図書通信の発行			72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	各学年・係と連携した情報提供			27.3%	63.6%	0.0%	0.0%	9.1%
	小論文・面接などの資料提供			36.4%	36.4%	9.1%	0.0%	18.2%
生活指導	安心・安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初事案が2件発生したが、該当生徒を継続して見守り、問題なくこまて来ている。</li> <li>この2件以後、問題行動はなく『開店休業』状態。</li> <li>例年、年度当初多発していた自転車の交通事故は激減した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒は概ね良好な学校生活を送っており、問題行動も少なかった。</li> <li>例年、年度当初多発していた自転車の交通事故は激減した。</li> <li>ICT機器の不適切な利用は、問題が発覚していくのとは対照的に発覚した時には重大な案件になりやすい。1年生の早い時期の指導を考えたい。</li> <li>高松92宣言については、引き続き指導の中心とする。</li> </ul>	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	基本的な生活習慣の確立			36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	情報の共有と指導体制の確立			27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%
生徒会指導	高松92宣言の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>高松祭は、公開せず校内祭で実施した。また、感染防止対策を徹底して行った。特に体育館での全体イベントは入場制限をし、各HRR教室とオンラインで実施した。</li> <li>各委員長を含めた役員会を行い、活動状況を互いに把握するとともに積極的に委員会の活動が展開されるよう工夫した。</li> <li>役員が発足にあたり、いのちの碑の慰霊を全役員で行いあらためて高松92宣言の意義を確認させた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナによる制約がある中で工夫して活動に取り組ませることを目指した。高松祭では一般公開はできなかったが、2年ぶりに実施できた。</li> <li>委員会活動は、顧問の指導により継続的な活動ができた。・班活動はコロナによる制限で残念ながら活動が十分にできなかった。</li> <li>高松92宣言が30年を経たが、風化させずその意義を継承させるための職員側の強い意識が必要である。</li> <li>成人年齢引き下げにより、次年度から3年生は在学中に成人していくことをふまえて生徒自治会の活動も、成人としての自覚責任をもち主権者としての高い意識を持つような意図が求められる。</li> </ul>	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	高松祭などの行事の運営			63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	委員会活動の活発化			36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%
	班活動の活発化			54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
教育相談	アンケートによるニーズの把握と問題の発見及び予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>悩みアンケートおよび学校環境適応尺度「アセス」は一定の役割を果たしていると思われる。係会や教科担当者等を通じて、生徒の情報共有や合理的配慮についての理解を深め、相談力向上事業も活用して生徒・保護者に丁寧にに関わり、SC・SSWと連携しつつ遺漏のない支援及び環境整備を図っていききたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>係会や教科担当者等を通じて、関係職員が生徒の情報や配慮事項及び支援方法などについて共有し、SC・SSW、専門機関とも連携しながら進めてきた。次年度も生徒・保護者に丁寧にに関わり、遺漏のない支援及び環境整備を図っていききたい。</li> <li>悩みアンケート（「アセス」調査）をグーグルを活用して行い、その結果は紙を廃止してデータで関係職員が共有できるようにした。その方法で特に問題はなく、むしろ紙の節約もできた。次年度以降もこの方法で実施したい。</li> </ul>	54.5%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%
	生徒・保護者の支援及び環境整備			36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%
保健衛生	生徒・職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの影響で課題は多いが、引き続き安全面に配慮しながら、生徒、職員の健康状態を見守っていききたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中、先生方の協力を得て様々な活動を行うことができた。</li> <li>来年度も、健康診断については分散して行いたい。</li> </ul>	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	学校安全の徹底			45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%
美化	全校生徒の美化・環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度より、感染症対策として個人のゴミの持ち帰りに全校で取り組んでいる。今年度は自治会主催の班室清掃をきっかけに、班室のゴミも教室と同じく持ち帰るよう呼び掛けた。今後も持ち帰る意義を理解してもらい、継続につなげたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策として昨年度より個人ゴミの持ち帰りを進めており、今年度は教室だけでなく班室にも広げた。</li> <li>どちらも徹底には至っていないが、安全で過ごしやすい環境を作るために生徒自ら行動できるよう、働きかけて行きたい。</li> </ul>	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%
PTA	学校と保護者の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月の総会は、実施予定で計画を進めたが感染状況を踏まえ直前に中止し、書面での決議とした。各地区懇談会、研修旅行は中止とした。</li> <li>10月の教育懇談会、学年PTA行事は、感染予防対策を徹底しながら授業公開と合わせて実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナによる制約で総会は書面での実施、研修旅行は中止とせざるを得なかった。</li> <li>教育懇談会を実施できた。</li> <li>地区PTA懇談会は、今後の在り方を見定める時期が来ている。</li> <li>次年度から、生徒が成人することで「保護者」ではなくするため、会則上は「保護者等」への変更を行う必要がある。</li> </ul>	27.3%	54.5%	0.0%	0.0%	18.2%

行政	校舎内外の環境整備の推進	・新型コロナウイルスの感染対策として、手洗場の蛇口の自動水栓化、換気徹底のため各教室、各研究室等にサーキュレーターの設置、消毒液の購入等を行い、感染予防に努めた。また、学校施設の修繕、樹木の剪定・伐採等限られた予算の中、環境整備に努めた。	・新型コロナウイルス感染対策としての環境整備を重点的に行った。さらに限られた予算の中で、できる限りの改善を進めていきたい。 ・また、同窓会の支援を得ながら環境整備を進めることが必要。 ・来校者、電話対応も引き続き丁寧に行っていきたい。	36.4%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%
	エコマネジメント長野への取組推進	・コピー用紙の削減、使用していない教室等の消灯や冷暖房の適切な使用を呼びかけた。		36.4%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%
	来校者等への親切・丁寧な対応	・窓口対応や電話対応等、親切・丁寧な対応に努めた。		54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
1学年	iPadの活用と家庭学習習慣の確立	・県教育委員会の指導の下、iPadを全員購入し、各種アンケート調査・週一の英単語テスト・探究活動調査・各授業での資料提示及び課題提出等多岐にわたる分野で、情報ツールとして活用している。コロナ禍での新入生として、感染対策に気を付けつつも、「明るく、元気に」高校生活が送れるように各担任が努力を続けている。学習面では、英単語テストを学習の軸として、各クラスが学習に向けて頑張る雰囲気醸成された。東館の清掃も例年以上の取り組みが見られ、明るく清潔な環境で学習できている。12月には、人権学習としてCAPS長野の講習会も予定している。	・iPadによる各種アンケート調査から授業活用、オンライン授業や探究活動等幅広い実践を行い、今までの学習活動を深めることができた。今後も更なる利用を考えていきたい。 ・クラスマッチや英単語テストでは、クラスの対抗意識を良い方向で発揮して成果を挙げることが出来た。また、清掃活動では東館の清掃に真面目に取り組み、常に清潔な学習環境を自ら作り出すことができた。 ・学年末考査を一学年244名全員で受験することができ、明るい雰囲気での学習できる環境が出来ていると考える。 ・来年度は、2学年として大学入試を見据えた学習活動と、自ら学ぶ探究活動を両立しながら模擬試験等で更なる学力アップを計っていきたい。	27.3%	63.6%	0.0%	0.0%	9.1%
	挨拶・清掃など基本的な生活習慣の確立			36.4%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%
	いじめ・暴力などに対する人権感覚の育成			36.4%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%
2学年	家庭学習習慣の確立	・グーグルクラスルームを利用し、家庭学習の充実指導に取り組んだ。基本的な生活習慣の確立、班活動の両立については、生徒とのこまめな面談を通じ指導を行っている。いじめ・暴力の根絶については、HR活動や授業を通して、その重要性を引き続き理解させたい。家庭連絡を密に行うことで保護者との信頼関係を構築し、協力体制を強めていくことを意識しながら諸々の指導を継続していきたい。	・学年通信や教科通信などで、継続的に情報提供した。分析のアウトカムを考えるポイントを提示し、意識喚起に努めることができた。 ・学年内の諸問題を情報共有し、連携して対応することができた。 ・全校集会での呼びかけや、個々の生徒との面談や保護者との連携の成果を今後も継続できるよう引き続き次年度も意識的に取り組みたい。	41.7%	50.0%	0.0%	0.0%	8.3%
	挨拶・清掃など基本的な生活習慣の確立			41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	0.0%
	いじめ・暴力などに対する人権感覚の育成			41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	保護者との信頼関係の確立			41.7%	50.0%	0.0%	0.0%	8.3%
3学年	目標目的を重視した志望の進路実現	・本人、保護者と懇談を丁寧に行い共通認識の下で進路選択をできるように掛けた。大学入試制度変更2年目に加え新型コロナへの対応があった昨年度と違い全体的に例年と入試形態を戻した大学も多く、不安要素が多い中、最新情報を入手し着実に進路指導ができるよう留意した。班活動の大会や行事は縮小されながらも実施されたが、練習禁止期間や、引継ぎもなく最上級生の立場になったことなど生徒たちには多くの苦難があり、生徒たちの気持ちに寄り添い目標に向かえるよう配慮して指導した。18歳での選挙権について意識をさせ行使できるよう指導した。最終学年として心身ともに、個々にも集団としてもたくましく成長した姿となるよう指導を継続していきたい。	・共通テストへ向けて特編授業などを通じ実力養成を図ることが出来た。また二次試験対策は、コロナ禍のため集団対面授業ができず、オンラインや、個別添削指導に切り替え、前日程直前まで実施した。 ・目標・目的に沿った志望校への進学を多くの生徒で実現させることが出来た。 ・共通テスト2年目で予想通り、難しくなり全国平均が下がる中、健闘した生徒も多かったが、過去問も少ない中、「変わった出題」「総合問題的な出題」にどう対応するか今後の課題であると思われる。 ・かろうじてクラスマッチ、文化祭、班活の公式戦などを行うことが出来、生徒たちは制限のかかる中でできることを模索しながら実施に努力をしていたので社会性や協働性を養うことはできたと思われる。この事態の終息を願いつつ次年度は実施形態も工夫しながら対応したい。 ・保護者の方とは個別面談や配信メールでの周知などで連携していったが、次年度は事態の終息を願ひより保護者との連携を模索したい。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	社会性・協働性の育成			36.4%	45.5%	0.0%	0.0%	18.2%
	生徒保護者と学校の連携			36.4%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%

番号

63

学校名

飯田高等学校

番号	63	学校名	飯田高等学校
----	----	-----	--------

## 令和3年度 長野県飯田高等学校 学校関係者評価

(対象:PTA 評議員、学校評議員)

学校教育目標	1 いのちと人権を尊重して、いじめや暴力を許さない人間を育てる 2 幅広い活動を通じ、自主的、自立的、自律的な行動ができる心身ともに健全でたくましい人間を育む 3 個々に適した進路指導を行い自己理解を深めるとともに、自発的に学習する態度を育て、社会的視野を広げることを支援する 4 保護者や地域と連携し、安全・安心で信頼される、開かれた学校づくりを進める					
今年度重点目標	1 いじめや暴力を許さない安心で、安全な環境づくりに努める 2 生徒のキャリア意識を醸成し、進路実現にむけた意欲的な学習活動を支援する 3 生徒の自主活動を支援し、自主性・自立性・自律性をかん養する 4 開かれた学校づくりを進める					
評価項目	評価の観点と評価	1	2	3	4	5
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
(該当するものに○をしてください)						
安心で、安全な環境づくり	1 教職員間で情報・指導の共有化ができたか	16.0%	40.0%	0.0%	0.0%	44.0%
	2 安全管理や危機管理意識を高める取り組みができたか	16.0%	52.0%	4.0%	4.0%	24.0%
	3 授業や特別活動を通じて、人権意識を高める取り組みができたか	12.0%	56.0%	4.0%	0.0%	28.0%
	4 安全・快適な学校環境づくりに努力できたか	28.0%	56.0%	4.0%	0.0%	12.0%
キャリア意識の醸成	5 教職員間で情報・指導の共有化ができたか	12.0%	40.0%	0.0%	0.0%	48.0%
	6 授業内容・方法を工夫し、生徒の学ぶ意欲を高める授業が実践できたか	12.0%	52.0%	4.0%	0.0%	32.0%
	7 基本的な生活習慣・自主的な学習習慣をつくるための指導ができたか	20.0%	48.0%	12.0%	0.0%	20.0%
	8 キャリア意識を醸成する実践が、授業や特別活動を通じてできたか	16.0%	40.0%	8.0%	0.0%	36.0%
生徒の自主・自立支援	9 生徒会やHR活動、班活動等で、生徒の自主性・自立性・自律性を高める支援ができたか	12.0%	68.0%	0.0%	4.0%	16.0%
開かれた学校づくり	10 学校に関する各種情報が生徒や保護者、地域に適切に提供できたか	24.0%	48.0%	16.0%	4.0%	8.0%
	11 生徒や保護者、地域の意見・要望を積極的に把握し、それに対して適切に対応できたか	12.0%	52.0%	20.0%	8.0%	8.0%

## 【ご意見】

- ・コロナの影響で学校の様子を直接拝見する機会もほとんどなく、アンケートにお答えすることが難しかったです。
- ・各項目にある〇〇できたかという問いに対し、何をもって(学校・子ども・先生のどこをみて)できた、できなかった、という項目にしてもらおうと回答がしやすい。
- ・進学校として進学率の高さは重要な評価項目の一つであると考えますが、生徒の自主性を高める班活動に非常に消極的な考えをもつ先生方に違和感を持ちます。指定校推薦など勉強プラス班活動、生徒会活動に注力した学生に枠を与えることも検討していただきたい。今回のラグビー班の全国大会出場は文武両道を目指す若者のあるべき姿の一つであり、感動いたしました。
- ・学校へ行く事が何も嫌でなく、授業に取り組み行事にも参加できてとてもありがたく思っています。友達関係の様子なども先生方の目が届いているようで、問題行動もなく安心していられます。
- ・コロナで学校との交流などはなかったが問題がなかったと思うのでよかったです。
- ・手指消毒液が各クラスにあると良いと思う。正直、授業参観や行事を見る機会が例年より少ないのでわからない。
- ・班活動の終了時間等について、きちんと約束を守っていただきたいかった。夜中まで活動しているというのはいかななものかと思う。精神的に参ってしまうところでした。
- ・コロナ禍の折でも生徒の成長や自主性を尊重した教育が得られたと考えます。
- ・「教職員間での共有化」に関しては、全く保護者は分らないですが、アンケートの問いにあるのはどのように捉えたらよいのでしょうか。
- ・回答するのが非常に難しい。このアンケートの結果がどう活用されて、どう改善されるかイメージがわからない。
- ・それぞれの設問に対して、どんなことを行ってきたのか書いていただけるとアンケートに答えやすくありがたいです。
- ・コロナ禍で先生方も苦勞されての学校運営だと思います。奇跡的にも休校とならず生活が送れていることに感謝しております。このままオンライン授業を行わなくてもすむことを祈っております。生徒のアンケートで、2年生の評価が特に気になっています。残り一年間が少しでもよい評価につながる高校生活になってほしいです。先生方、よろしく願います。
- ・評価しましたが、質問されている内容が評議員としての立場から評価する内容なのか疑問に感じました。
- ・資料が生徒アンケート結果のみでは「わからない」以外の評価のしようがありません。
- ・職員の連携については評価できる状況がないので評価項目を変えてほしい。授業は見せていただいたが、極々限られた範囲なので失礼な評価であるかと思います。私が在校生だったころより地域や保護者・生徒に対して開かれた学校になっていると思います。
- ・1、3年生に比べて2年生のアンケート回答のポジティブな割合が少し低いのは入学時のコロナ禍との関連があるのでしょうか。